

狹山市立狹山台中学校
令和7年度 第3学年

シラバス

〈学習案内〉



☆このシラバスには、各教科の学習内容・学習ポイント・評価方法が書かれています。

【国語科 シラバスについて】

令和7年度 狭山市立狭山台中学校 第3学年 国語科 授業計画

1) 教科の目標

日常生活で活用できる言語能力を身につけよう。
文字を正しく丁寧に書く習慣を身につけよう。

2) 評価の観点

「知識・技能」

学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況について評価を行うとともに、それらを既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかについても評価する。

「思考・判断・表現」

知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力・判断力・表現力等を身につけているかを評価する。

「主体的に学習に取り組む態度」

知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとしている側面と、その粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとする側面を総合的に評価する。

3) 評価の方法

(1)「知識・技能」について

○「言語事項」の学習活動

- ・定期テストの「語句・言語に関する問題」 ・休み明け漢字テスト
- ・硬筆 ・書き初め

(2)「思考・判断・表現」について

○「話すこと・聞くこと」の学習活動

- ・スピーチ ・聞く態度 ・聞き取りテスト ・発言、発表の仕方

○「書くこと」の学習活動

- ・定期テストの課題作文 ・授業プリント ・読書感想文

○「読むこと」の学習活動

- ・定期テストの「読解問題」 ・授業プリント ・小テスト ・発表の内容

(3)「主体的に学習に取り組む態度」について

○主に授業中の態度や、日常的な学習・提出物で評価します。

- ・忘れ物をしない ・積極的に発言する ・提出物の期限を守って提出する
- ・提出物（授業ノートや漢字スキルワーク・別冊テストなど）の内容
- ・古文の音読テスト ・古文の暗唱テスト（定期テストも含む）

4) 各学期の学習内容と学習のポイント

	月	単 元	学 習 内 容
1 学 期	4	世界はうつくしいと 1, 深まる学びへ 握手 学んで時にこれら習ふ —「論語」から	・ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・ 登場人物の生き方や考え方を捉え、人間や社会について自分の意見をもち、作品を批評する。
	5	漢字 1 熟語の読み方 2, 視野を広げて 作られた「物語」を超えて「	・ 漢文の言い回しに注意して読み人間の生き方についての孔子の考え方を自分たちの生活と関連づけて考える。 ・ 熟語に関する知識を広げる。 ・ 表現や場面、登場人物の設定に着目して、内容を読み深める。時代や社会の変化の中での、人と人との関わりについて考えをもつ。
	6	スピーチで社会に思いを届ける 漢字に親しもう 文法への扉 1 すいかは幾つ必要?	・ 目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う。 ・ 漢字の音訓、部首、送り仮名を復習する。 ・ 文法についての理解を深め、生活の中での表現や読解に生かす。
	7	3, 言葉とともに 俳句の可能性 俳句を味わう 硬筆 言葉を選ぼう 言葉 1 和語・漢語・外来語 「私の 1 冊」を探しにいこう 羊と鋼の森	・ 筆者のものの見方や感じ方、表現のしかたなどを読み味わい、俳句の世界に親しむ。 ・ 筆者のものの見方や感じ方、表現のしかたなどを読み味わい、俳句の世界に親しむ。 ・ 和語・漢語・外来語・混種後の感じ方の違いを理解する。 ・ 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解する。
2 学 期	9	4, 状況の中で 挨拶 故郷	・ 詩に表現されている内容と、現代社会の状況を重ね合わせながら考えを深める。 ・ 表現や場面、登場人物の設定に着目して、内容を読み深める。時代や社会の変化の中での、人と人との関わりについて考えをもつ。
	10	聞き上手になろう 質問で相手の思いに迫る 慣用句・ことわざ・故事成語 漢字 2 漢字の造語力	・ 提案や主張など自分の考えを話したり、それらを聞いて質問したり評価などを述べたりする。 ・ 慣用句・ことわざ・故事成語などの知識を広げる。 ・ 語彙を豊かにし、文や文章の中で使う。
	11	5, 自らの考えを 人工知能との未来 人間と人工知能と創造性 多角的に分析して書こう 説得力のある批評文を書く 合意形成に向けて話し合おう 音読を楽しもう 初恋 6, いにしへの心を受け継ぐ 音読を楽しもう 古今和歌集仮名序 君待つと「万葉・古今・新古今」 夏草—「おくのほそ道」から	・ 文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて自分の意見をもつ。 ・ 表現の仕方を考えたり資料を適切に引用して自分の考えがわかりやすかつたわる伝わる文章を書く。 ・ 互いの考えを生かしながら議論や討論をする。 ・ 言葉の響きやリズムを味わいながら「初恋」を朗読する。 ・ 「古今和歌集 仮名序」の冒頭を音読し、古典の世界に親しむ。
	12	7 価値を生み出す 誰かの代わりに 漢字 3 漢字のまとめ 文法への扉 2 エルサルパドルの少女 ヘスース 書き初め	・ 昔の人の心情や情景を読み味わうとともに和歌に歌われている人間や自然などについて、自分の考えをもつ。 ・ 古典作品について書かれた文章を読み、自分の考えを深め、古典の世界に親しむ。 ・ 学習した文法の知識を確かめ、理解を深める。 ・ 目的をもって本を読み、人間・社会・自然などについての知識を広げ、自分の考えを深める。 ・ 「ない」の文法上の違いを理解する ・ 行書を形を整えて美しく書く。
3 学 期	1	8 未来へ向かって 温かいスープ	・ 筆者の考える「国際性」について自分の考えをもつ。
	2	わたしを束ねないで 文法のまとめ	・ 詩における語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意して読み、自分の可能性や生き方になどについて考える。 ・ 3 年間の文法の復習をする。
	3	漢字 3 漢字のまとめ 三年間の歩みを振り返ろう 学びについて語り合う	・ 2 年生までに学習した漢字に加え、その他の常用漢字のだいたいを読み、適切に使い慣れる。 ・ 三年間の学びを振り返りながら自分の考えを深め、構成を工夫してまとめる。自分の経験や知識を整理して話し、発表内容や書いた作品を評価し合ってものの見方や考え方を深める。

1) 教科の目標

・ 社会的事象に興味を持って、積極的に調べ、考え、自分の意見を持てる生徒の育成。 ・ 社会的事象に関する基礎的基本的知識を身につける。
--

2) 評価の観点

・ 社会的事象への理解と資料活用 of 技能	我が国の国土と歴史，現代の政治，経済，国際関係等に関して理解しているとともに，調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。
・ 社会的な思考・判断・表現	社会的事象の意味や意義，特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり，社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり，思考・判断したことを説明したり，それらを基に議論したりしている。
・ 社会的事象を主体的に学ぼうとする態度	社会的事象について，国家及び社会の担い手として，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

3) 評価の方法

* 3つの観点をこれらの方法等で評価し、それぞれA・B・Cの判定をします。

【知識・技能】	○定期テスト ○小テスト ○レポートの内容など
【思考・判断・表現】	○定期テスト ○レポートの内容など ○振り返りシートの記入内容 など
【主体的に学ぼうとする態度】	○ノートやレポートの内容 ○授業への取り組み ○振り返りシートの記入内容など

4) 各学期の学習内容

	月	単元	学習内容
1 学 期		【歴史的分野】	
	4	第5章 開国と近代日本の歩み	4 日清・日露戦争と近代産業
	5	第6章 二度の世界大戦と日本	1 第一次世界大戦と日本 2 大正デモクラシーの時代 3 世界恐慌と日本の中国侵略 4 第二次世界大戦と日本
	6	第7章 現代の日本と私たち	1 戦後日本の出発 2 冷戦と日本の発展 3 新たな時代の日本と世界

	7	【公民的分野】 第1章 現代社会と私たち	1 現代社会の特色と私たち 2 私たちの生活と文化 3 現代社会の見方や考え方
2 学 期	9	【公民的分野】 第2章 個人の尊重と日本国憲法	1 人権と日本国憲法 2 人権と共生社会 3 これからの人権保障
	10	第3章 現代の民主政治と社会	1 現代の民主政治 2 国の政治の仕組み 3 地方自治と私たち
	11		1 消費生活と市場経済 2 生産と労働 3 市場経済の仕組みと金融
	12	第4章 私たちの暮らしと経済	4 財政と国民の福祉 5 これからの経済と社会
		第5章 地球社会と私たち	1 国際社会の仕組み
3 学 期	1		2 さまざまな国際問題
	2		3 これからの地球社会と日本
	3	終章 より良い社会を目指して	

【数学科 シラバスについて】

令和7年度 狭山市立狭山台中学校 第3学年 数学科 授業計画

1) 教科の目標

1	数の平方根について理解し、数の概念についての理解を一層深める。また、目的に応じて計算したり式を変形したりする能力を一層伸ばすとともに、式を能率的に活用できるようにする。
2	図形の相似や三平方の定理について、観察、操作や実験を通して理解し、それらを図形の性質の考察や計量に用いる能力を伸ばすとともに、見通しをもって論理的に考察し表現する能力を伸ばす。
3	具体的な事象を調べることを通して、関数 $y = ax^2$ について理解するとともに、関数関係を見だし、表現したり考察したりする能力を伸ばす。

2) 評価の観点

①知識 技能	・個別の知識及び技能の習得状況について評価する。 ・それらを既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしているかについて評価する。
②思考判断表現	・数学の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価する。
③主体的に取り組む態度	・知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしているかどうかを含めて評価する。

3) 評価の方法

授業や課題への取り組みの態度、定期テスト、提出物、レポート、ワーク、プリント、宿題、発言 等
--

4) 各学期の学習内容と学習のポイント

	月	単元	学習内容
1 学 期	4月	1章 式の展開と因数分解	○乗法公式を用いて、式を展開することができるようにします。
	5月	1節 式の展開と因数分解	
		2節 式の計算の利用	○公式を利用して、式を因数分解することができるようにします。 ○問題解決に式の計算や因数分解を利用できるようにします。
	6月		

	7 月	2 章 平方根 1 節 平方根 2 節 根号をふくむ式の計算 3 節 平方根の利用	○平方根や根号の意味を理解できるようにします。 ○根号をふくむ簡単な式の計算や変形ができるようにします。
		3 章 二次方程式 1 節 二次方程式 2 節 二次方程式の利用	○因数分解や平方根の考えを用いて二次方程式を解くことができるようにします。 ○具体的な場面の中の数量の関係から二次方程式をつくり、文章題の答えを求めることができるようにします。
2 学 期	9 月	4 章 関数 $y=ax^2$ 1 節 関数とグラフ 2 節 関数 $y=ax^2$ の値の変化 3 節 いろいろな事象と関数	○ $y = a x^2$ で表される関係を、式やグラフに表すことができ、その特徴を理解することができるようにします。 ○関数 $y = a x^2$ のとる値の変化の割合を調べ、一次関数との違いを明らかにすることができるようにします。 ○身のまわりに関数 $y = a x^2$ と関わりの深い事象があることがわかるようにします。
	10 月		
	11 月		
	12 月	5 章 図形と相似 1 節 図形と相似 2 節 平行線と線分の比 3 節 相似な図形の計量 4 節 相似の利用	○三角形の相似条件を理解しそれを利用して相似な三角形の性質を考察することができるようにします。 ○平行線と線分の比の性質を使って、いろいろな線分の長さを求めることができるようにします。
3 学 期	1 月	6 章 円の性質 1 節 円周角と中心角 2 節 円の性質の利用	○円周角の定理を理解することができるようにします。 ○円周角の定理を利用して、角度を求めたり、証明をしたりできるようにします。
		7 章 三平方の定理 1 節 直角三角形の 3 辺の関係 2 節 三平方の定理の利用	○三平方の定理を理解し、直角三角形の 2 辺の長さから残りの辺の長さを計算によって求めることができるようにします。 ○平面図形や空間図形の中に直角三角形を見いだす工夫をし、三平方の定理を利用して問題を解決することができるようにします。
	2 月	8 章 標本調査とデータの活用 1 節 標本調査	○標本調査を活用することができるようにします。
		復習	○3 年間の学習の総まとめをします。

【理科 シラバスについて】

令和7年度 狭山市立狭山台中学校 第3学年 理科 授業計画

1) 教科の目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を養う。

2) 評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
●自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解していかな。 ●科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けているか。	●自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究しているか。	●自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしているか。

3) 評価の方法

○知識・技能
定期テスト、実験プリントの作図・スケッチ、パフォーマンステストなど

○思考・判断・表現
定期テスト、実験プリントの考察、課題レポートなど

○主体的に学習に取り組む態度
授業態度、課題レポート、振り返りカード、実験プリントなど

4) 各学期の学習内容と学習のポイント

	月	単元	学習内容
1 学 期	4	化学変化とイオン 1. 水溶液とイオン 2. 酸、アルカリとイオン 3. 化学変化と電池	- 原子の構造とイオンの関係を理解する。 - 電流が流れる水溶液と流れない水溶液の違いを電離とイオンに着目して説明する。 - 酸性、アルカリ性の水溶液の性質を調べ、それぞれの水溶液の共通点をイオンに着目して説明する。 - 酸性の水溶液とアルカリ性の水溶液を混ぜたときの化学変化をイオン式で説明する。 - 化学電池の実験を通して、しくみを理解する。 - イオン化傾向と電圧の関係を調べ、説明する。
	5		

	6 7	生命の連続性 1. 生物の成長と生殖 2. 遺伝の規則性と遺伝子	- 細胞分裂の様子を観察し、特徴を調べる。 - 花粉管を観察し、スケッチを描く。 - 有性生殖と無性生殖のしくみを理解する。 - 遺伝の規則性を理解し、遺伝子の伝わり方を説明する。 - 遺伝子の本体は、DNA であることを知る。
2 学 期	9	生物の多様性と進化 1. セキツイ動物の進化 2. 進化の証拠 3. 進化と多様性	- セキツイ動物の特徴を関連付けて、進化の様子を説明する。 - 進化の証拠にはどのようなものがあるか考える。 - 進化と地球上の生物の多様性の関係についてまとめる。
	10 11	運動とエネルギー 1. 物体のいろいろな運動 2. 力の規則性 3. 水中ではたらく力 4. エネルギーと仕事	- 斜面を下る台車の運動の速さを求め、グラフを書き、どのような運動なのか特定する。 - 斜面を登る物体の運動の速さを求め、どのような運動なのか特定する。 - 摩擦の少ない氷平面を進む台車の速さを求め、どのような運動なのか特定する。 2 力のつり合い条件を調べる。 - 慣性の法則と作用反作用を理解する。 - 小球が持つ力学的エネルギーと仕事の関係を調べ、規則性を説明する。 - 道具を使った仕事を求め、原理を見つける。 - いろいろなエネルギーの移り変わりを調べる。
	12	地球と宇宙 1. 宇宙の広がり 2. 地球の運動と天体の動き 3. 月と惑星の見え方	- 銀河系と太陽系の特徴を理解する。 - 地球の自転によって起こる見かけの星の運動について説明する。 - 地球の公転によって起こる見かけの星の運動について説明する。 - 地球の公転と南中高度の変化について理解する。 - 月と金星の満ち欠けについて理解し、説明する。
3 学 期	2 3	地球と私たちの未来のために 1. 自然のなかの生物 2. 自然環境の調査と環境保全 3. 自然の恵みと災害 4. 科学技術と人間 5. 持続可能な社会を作るために	- 生物の食物連鎖について調べ説明する。 - 菌類、細菌類のはたらきを調べる。 - 自然環境の保全方法を考え、理解する。 - 自然がもたらす恩恵や災害について調べる。 - 新素材や発電の特徴や利用について調べ説明する。 - 放射線の性質と利用について理解する。 - エネルギー資源の利用を調べる。 - エネルギー資源の有効利用の重要性を考える。

1) 教科の目標

- ①英語を使って自らコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。
- ②4領域（聴く・話す・読む・書く）の調和を心がけ、基礎学力が定着する授業を工夫する。
- ③英語圏をはじめとする異文化に触れ、グローバルな見方や国際人としての自覚を育てる。

2) 評価の観点

1 知識・技能

実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話したり書いたりして表現したり伝えあったりする技能を身に付けている状況の評価する。また日常的な話題や社会的な話題について話されたり書かれたりする文章等を聞いたり読んだりして、その内容を捉える技能を身に付けている状況の評価する。

2 思考・判断・表現

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、話したり書いたりして表現したり伝えあったりしている状況の評価する。日常的な話題や社会的な話題について話されたり書かれたりする文章等を聞いたり読んだりして、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、必要な情報や概要、要点などを捉えている状況の評価する。

3 主体的に学習に取り組む態度

外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている状況の評価する。

※以上の観点について、聞くこと・読むこと・話すこと[やり取り]・話すこと[発表]・書くことについて評価する。

3) 評価の方法

- 1 小テスト・定期テスト
- 2 発表（スピーキングテスト）・音読（リーディングテスト）・英作文・小テスト・定期テスト
- 3 授業への取り組み、宿題の取り組み、ノート・ワーク・ワークシートの取り組み、提出物

4) 各学期の学習内容と学習のポイント

	月	単 元	学習内容
1 学期	4 月	辞書を使いこなそう Program1 Bentos Are Interesting! Word Web 1 家の中と外 Steps 1 ディベートをしよう	・辞書の引き方について学習し、句動詞を調べる。 ・ask ～ to ... / It is ～ (for + 人) to... / 主語 + be 動詞 + 形容詞 + that ～. の意味や働きについて学ぶ。 ・家具・設備・衣服などの表現を学ぶ。 ・ディベートの流れと意見の主張の仕方について学ぶ。
	5 月	Program2 Good Night. Sleep Tight. Power-Up 1 道案内をしよう②	・〈主語＋動詞＋（人）＋疑問詞節〉および〈主語＋動詞＋疑問詞節〉の意味や働きについて学ぶ。 ・電車の乗り換えの表現について学ぶ。
	6 月	Program3 A Hot Sport Today Steps 2 メモのとり方を学ぼう Our Project ⑦ 記者会見を開こう	・主語＋動詞＋目的語＋補語（名詞 / 形容詞） / 主語＋動詞＋目的語＋動詞の原形の意味や働きについて学ぶ。 ・5W1Hを意識し、メモをとりながら聴き取る。

	7 月	Reading ① Faithful Elephants Power-Up 2 不良品を交換しよう	・ Reading（復習）を通して、文法事項の復習をする。 ・ 返品や交換を依頼する表現について学ぶ。
2 学期	9 月	Program4 Sign Languages, Not Just Gestures! Power-Up 3 ホームページで学校を紹介しよう Steps 3 かんたんな表現で言いかえよう	・ 分詞の後置修飾（現在分詞 ・ 過去分詞）の意味や働きについて学ぶ。 ・ ホームページの構成を学び、自分の学校の行事や部活を英語で書く。 ・ 英語での言い方を知らないものを、自分が知っている単語で表現する。
	10 月	Program5 The Story of Chocolate Steps 4 わかりやすい文章を考えよう Word Web ② 動詞の使い分け Program6 The Great Pacific Garbage Patch	・ 関係代名詞（主格）who / which / that ・ つなぎことば、構成を意識して文章を読む。 ・ look, see, watch / hear, listen の違いについて学ぶ。
	11 月	Steps 5 ディスカッションをしよう Our Project ⑧ あなたの町を世界にPRしよう Power-Up 4 非常時のアナウンスを聞こう	・ 関係代名詞（目的格）which / that / 省略 ・ 無人島に持っていくものを議論する。 ・ ペアで PR の文章を作成し、発表する。 ・ デパート火災で避難経路を聞き取る。
	12 月	Program 7 Is AI a Friend or an Enemy? Reading 2 Malala's Voice for the Future	・ 仮定法過去 / I wish + 主語 + 仮定法過去 ・ （復習）
3 学期	1 月	Reading 2 Malala's Voice for the Future Special Project Let's make a speech! Word Web ③ オリンピック競技・パラリンピック競技	・ 自分のスピーチを作成し、クラスの中で発表する。 ・ スポーツの競技名について学ぶ。
	2 月	Reading 問題演習	・ これまで習った文法を復習し、要点を捉えながらまとめた英文を読む。 ・ 3 年間の総復習

【音楽科 シラバスについて】

令和7年度 狭山市立狭山台中学校 第3学年 音楽科 授業計画

1) 教科の目標

(1)知識及び技能	曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
(2)思考力、判断力、表現力等	音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
(3)学びに向かう力、人間性等	音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

2) 評価の観点

①知識・技能	・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解しているかどうかを評価する。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表しているかどうかを評価する。
②思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしているかどうかを評価する。
③主体的に学習に取り組む態度	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしているかどうかを評価する。

3) 評価の方法

・学習状況の達成度をふまえ、上記①～③の観点をA・B・Cで評価し、それらをもとに5段階の評定を出します。 ・評価の材料は下記のとおりです。 定期テスト（1・3学期末）、実技発表及び実技テスト、小テスト、ワークシート、学習活動の様子、発言発表・ワーク・レポート等の内容 等

4) 各学期の学習内容と学習のポイント

	月	題材	学習内容
1 学 期	4月	○ガイダンス	・授業の受け方、年間の学習計画、評価について
	5月	・いろいろな発声練習 ・My Voice ! ○日本の歌のよさや美しさを理解して、歌唱表現を工夫しよう ・花 ・花の街	・発声のための身体の使い方を理解し、豊かな響きをもった発声を身に付ける。 ・美しいハーモニーを感じて歌う力を養う。 ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。
	6月	○ハ長調の音階を使ってまとまりのある旋律をつくろう ・My Melody !	・音階の特徴及び音のつながり方の特徴について理解するとともに、それらを生かしたまとまりのある創作表現を創意工夫して音楽をつくる。
	7月	○音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう ・ボレロ ・ブルタバ ○曲の構成を理解して、リズムアンサンプルの表現を工夫しよう ・Let' s Create! ・ウィ ウィル ロック ユー	・曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 ・音素材の特徴及び音の重なり方、反復、変化、対照などの構成を理解し、それらを生かして創意工夫して音楽をつくる。
2 学 期	9月	○全体の響きや各声部の役割を生かして、歌唱表現を工夫しよう	・歌詞や楽曲に対する思いをもち、意見交換をしながらパート練習等を通して自分たちで協力して合唱表現を深める。
	10月 11月	・校内音楽会 学年／クラス合唱曲	・声部の役割や全体の響きとの関わりを理解して表現を工夫する。 ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。
3 学 期	12月 1月	○楽器の音色や響きを生かして、表現を工夫しよう ・カントリーロード ○日本の伝統音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう ・能 ・狂言 ○世界の諸民族の音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう	・楽器の音色や響きと奏法との関わりを理解する。 ・ギターの基本的な奏法を学ぶ。 ・我が国の伝統音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解するとともに、音楽表現の共通性や多様性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 ・我が国、及び諸外国の伝統音楽の魅力、音楽の多様性、音楽と生活の関わり等について学ぶ。
	2月	○ポピュラー音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう ・ポピュラー音楽 ・著作権 等 ○仲間とともに心をこめて合唱しよう ・旅立ちの日に 他 ・国歌「君が代」	・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 ・おすすめのポピュラー音楽について、音楽の特徴に注目してプレゼンテーションする。 ・1年間の学びを生かし、卒業式に向けてお世話になった人への感謝や、新たな出発への思いを伝える合唱表現を追求する。

【美術科 シラバス】

令和7年度 狭山市立狭山台中学校 第3学年 美術科 授業計画

1) 教科の目標

「知識及び技能」

対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

「思考力、表現力、判断力等」

造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

「学びに向かう力、人間性等」

美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

2) 評価の観点

○知識・技能

対象や事象を捉える造形的な視点について理解し、表現方法を創意工夫、創造的に表している。

○思考・判断・表現

造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。

○主体的に学習に取り組む態度

美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。

3) 評価の方法

○知識・技能

作品（途中経過も含む）、授業での活動、授業内テスト、ワークシート 等

○思考・判断・表現

アイデアスケッチ、ワークシート、作品（途中経過も含む）、宿題 等

○主体的に学習に取り組む態度

授業への取り組み、発言、発表、提出物、振り返りカード 等

4) 各学期の学習内容

	月	題材	学習内容
1 学 期	4	鑑賞 立てる像	・松本竣介「立てる像」を鑑賞し、作品に描かれているもの、色などから、作者がどんな思いを込めて制作したのか考える。
	5 6 7	表現 自画像 自分と向き合う (描く) 教 p 14～19	・自分自身を見つめよく観察し、特徴をとらえたり、気に入っている姿を強調したりして、さまざまな表現方法を用いながら、今の自分を表現する。
2 学 期	9	鑑賞 金の表現、墨の表現 教 p41～44	・金地に描かれた豪華で力強い絵とそれとは対照的な色彩のない墨で描かれた絵が同時代に生み出され、ともに好まれていたことを踏まえて、どのような背景があるのか学ぶ。
	10 11 12	表現 いのちのカタチ (つくる・工芸・デザイン) 教 p109	・いのちのカタチをテーマに石の彫刻をつくる。単純化や省略、強調などを考え表現の構想を練る。
3 学 期	1	鑑賞 私たちの社会と美術 教 p 104～105	・作品のスタイルは大きく異なっているが、どの作品もその根底に、作者が自分で感じて伝えたいと思ったことを自分なりの方法で表現しているという共通項がある。それを通して私たちは他者を知り、別の世界の見方を手に入れる。それが社会の中における美術の最も重要な価値であることを学んでいく。
	2 3	表現 台中ピクトグラム (デザイン・描く) 教 64～65	・ピクトグラムの意味や役割を理解し、伝えたい内容や相手に合ったピクトグラムを考える。

※制作状況により題材の順番が前後することがあります。

令和7年度 保健体育科シラバス

1 授業の目標

- ①積極的に運動に親しむ資質や能力の育成。
- ②健康の保持増進のための実践力の育成。
- ③運動の合理的な実践を通して体力の向上を図る。

授業のねらい

○授業の約束を守りましょう。

- ① 授業の時間を守る
- ② 服装を整える
- ③ 道具の忘れ物をしない
- ④ 見学時の連絡（生徒手帳）



○「自分から」取り組みましょう。

- ① 準備運動や係の仕事が『自分から』できる。
- ② できないことをできるようにするために調べたり聞いたり工夫したりと指示を待つのではなく『自分から』取り組める。
- ③ 自ら学び、自ら考える力を育てるために「運動の学び方」を重視しています。

○自己評価（自分自身で）や相互評価（友達と）を大切にしましょう。

- ① 自分の態度や服装、技能を自分で評価しよう。（資料や学習カードの活用）
- ② 友達とお互いに評価しあい、それを励みにさらに次の段階へ進みましょう。
- ③ 先生の評価や指導・アドバイスをどんどん取り入れましょう。

2 評価の観点と方法

※観点別評価はA B Cでつけ、それを受けて5段階で評定として表します。

観 点		評 価 規 準	各評定における観点の評価の基準			
① 知 識・技 能			5			
学習した基本技能	各単元でしめす		4			
発展技能	各単元でしめす		3			
② 思 考・判 断・表 現			2			
学習カードの書き込み	必要事項が記入してある		1			
課題のポイント	自己の課題を確認できる					
ゲーム等で応用	ルールを理解し、ゲームができる					
③ 主体的に学習に取り組む態度			基本的なパターンです。			
			保健体育が好きになるためには			
服装・忘れ物	1～2忘れ、単元による		①自分の体の健康や調子に関心を持ちましょう ②自分の体力・運動能力を知りましょう ③身近なスポーツに興味・関心を持ちましょう ④積極的に身体を動かし、終わった後の心地よさを味わいましょう ⑤基本的生活習慣を身につけましょう			
自主的な準備運動	自ら進んで取り組める					
機敏で意欲的	笛や合図の約束を理解している					

3 各学期の学習内容と学習のポイント

保健体育科ではこんな学習をします

狭山台中学校で学習する保健体育は、体育分野と保健分野の2つの分野に分かれています。

○ 体育分野では

- (1) 体づくり運動 (2) 器械運動 (3) 陸上競技 (4) 水泳 (5) 球技
- (6) 武道 (柔道)
- (7) ダンス
- (8) 体育に関する理論を学習します。

○ 保健分野では

- (1) 心身の機能の発達と心の健康 (2) 健康と環境
- (3) 傷害の防止 (4) 健康な生活と疾病の予防を学習します。

○保健体育科の基礎・基本とは

- ①運動の楽しさや喜びを味わうこと
- ②健康で安全な生活を営むこと
- ③体力を高めること

「体力」や「技能」だけではなく「態度」や「学び方」を含めて広くとらえています。



授業の学習内容

	1 年	2 年	3 年
1 学期	○オリエンテーション ・体づくり運動 ・新体カテスト ・陸上競技 ハードル、走り幅跳び ・器械運動 ・水泳 ・体育に関する知識	○オリエンテーション ・体づくり運動 ・新体カテスト ・陸上競技 ハードル、走り幅跳び ・器械運動 ・水泳 ・体育に関する知識	○オリエンテーション ・体づくり運動 ・新体カテスト ・陸上競技 ハードル、走り幅跳び ・器械(陸上・器械は選択) ・水泳 ・体育に関する知識
2 学期	○オリエンテーション ・体づくり運動 ・陸上競技 ・ダンス ・ソフトボール ・バレーボール ・保健	○オリエンテーション ・体づくり運動 ・陸上競技 ・ダンス ・ソフトボール ・バレーボール ・保健	○オリエンテーション ・体づくり運動 ・陸上競技 ・ダンス、バレーボール ソフトボール 1 選択 ・バドミントン、ハンドボール、ソフトテニス 1 選択 ・保健
3 学期	○オリエンテーション ・武道(柔道) ・サッカー ・バスケットボール ・保健	○オリエンテーション ・武道(柔道) ・サッカー ・バスケットボール ・保健	○オリエンテーション ・武道(柔道) ・バスケットボール } 1 選択 ・サッカー ・保健

【技術科 シラバスについて】

令和7年度 狭山市立狭山台中学校 第3学年 技術科 授業計画

1) 教科の目標

- ・生活に必要な基礎的な知識と技術（スキル）の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する力を身につける。
- ・実習を通して、実践的・体験的に「ものづくりやエネルギーの利用」および「コンピュータの活用」等に関する基礎的な知識と技術を習得する。
- ・技術が果たす役割について理解を深め、それらを適切に評価し活用する力を養う。

2) 評価の観点

1. 知識・技能

＊習ったことに関する理解力・身につき方

- ①定期テストによって、知識・理解度を評価する。
- ②プリント内容等に習ったことが記入されている。

＊道具の使い方、コンピュータの使用方法および機能の使い方

- ①パソコンを適切に扱う。
- ②道具を安全に使い、正しく使うこと。

2. 思考・判断・表現

＊作品に対して工夫したり、努力したりする様子が見られたか

- ①作品の仕上がりに工夫し、解決しようとしている。
- ②製作への努力をして、周囲に伝えることができる。

3. 主体的に学習に取り組む態度

＊授業に対する取り組み方

- ①忘れ物をしない。
- ②発言の機会があったら積極的にする。
- ③授業中は私語をしないで、集中して取り組む。実習（作業）は意欲的に取り組む

3) 評価の方法

(1) 1～3のそれぞれの観点について、A, B, Cをつけ、その観点をもとにして技術科の5段階の評定を出します。

(2) 学年評定は家庭科の評定と合わせて、「技術・家庭科」の評定を出します。

4) 各学期の学習内容と学習のポイント

	月	単元	学習内容
1 学 期	4 月	【D情報】 ・ ネットワークを利用した 双方向性のあるコンテン ツのプログラミングによ る問題解決 ・ 計測・制御のプログラミン グによる問題解決 ・ 社会の発展と情報の技術	・ ネットワークを利用した双方向性のある コンテンツのプログラミング ・ 情報の表現手段とその内容（コンテンツ） についての特徴を理解する。 ・ 設計に基づいて適切なコンテンツの表現 およびプログラミングを行う。 ・ 情報の技術の見方・考え方を働かせて問題 を発見する。 ・ 使用の目的や条件によって、適切な方法を 比較・検討し、設計・制作する。 ・ 多様な利用者が安心して利用できるプロ グラムを考える。
	5 月		
	6 月		
	7 月		
3 学 期	1 月	【D情報】 デジタル作品を作ろう ①デジタル作品の構成を 調べよう ②デジタル作品を設計・制 作しよう 情報技術を適切に評価し活 用しよう	・ デジタル作品の制作の流れを学ぶ。 ・ デジタル作品を構成する表現手段の特徴 ・ 制作手順に沿って、デジタル作品を制作する。 ＜制作手順＞ 制作品の構想・設計 素材の準備・加工 素材の統合 制作品の評価・修正 制作品の表現・発信
	2 月		
	3 月		

＊ 1 学期に「技術科」の学習を行い、2 学期は「家庭科」の学習を行います。
3 学期は「技術科」と「家庭科」を両方とも学習する予定です。

【家庭科 シラバスについて】

令和7年度 狭山市立狭山台中学校 第3学年 家庭科 授業計画

1) 教科の目標

<保育>

○幼児の生活と家族について、課題をもって、幼児の発達と生活、幼児との関わり方に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、それを支える家族の役割や遊びの意義について理解し、幼児との関わり方を工夫することが出来るようにする。

<消費生活・環境>

○持続可能な社会の構築に向けて考え、工夫する活動を通して、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付ける。

○これからの生活を展望して、身近な消費生活と環境についての課題を解決する力を養い、身近な消費生活と環境について工夫し創造しようとする実践的な態度を育成することをねらいとする。

2) 評価の観点

①知識・技能	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解をしているとともに、それらに係る技能を身につけている。
②思考・判断・表現	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。
③主体的に学習に取り組む態度	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

3) 評価の方法

定期テスト、実技テスト、学習ノート、レポート 等

※学年評定は技術科の評定と合わせて、「技術・家庭科」の評定を出します。

4) 各学期の学習内容と学習のポイント

	月	単元	学習内容
2 学 期	9 月	【A 家族・家庭生活】 2 幼児の生活と家族	・ 幼児にとっての遊び ・ ふれあい体験事前学習 ・ 保育園訪問計画 ・ ふれ合い体験学習 ・ 子どもの成長のための日本と世界の取りくみ
	10 月		
	11 月		
	12 月		
3 学 期	1 月	【C 消費生活・環境】 1 家庭生活と消費 2 購入・支払いと生活情報 2 月 3 消費者被害と消費者の自立 4 持続可能な社会	・ 消費生活のしくみ ・ 家庭生活における収入と支出 ・ いろいろな購入方法と支払方法、売買契約 ・ 情報を活用した商品選択 ・ 消費生活のトラブルを防ぐ方法 ・ 消費者の権利と責任、消費者を支えるしくみ ・ 消費行動が環境に与える影響 ・ 自分の行動を振り返ろう

※₁ 保育園訪問は状況により実施時期は変更になる可能性もあります。
 ※₂ 1 学期は「技術科」の学習を行い、2 学期は「家庭科」の学習を行います。
 3 学期は「技術科」と「家庭科」を両方とも学習する予定です。

1) 教科の目標

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

2) 評価の視点

- ・物事を多面的、多角的に捉えている様子
 - ・道徳的諸価値の理解を自分自身との関わりの中で深めている様子
- 数値による評価はせず、記述式とする。

3) 評価の方法

授業や課題への取り組みの様子、ワークシートの記述、授業中の発言 等
各学年で可能な限りローテーション授業を行い、多くの教員からの視点で生徒の発言や心の変容を見届ける

4) 各学期で学習する内容項目

	1 年生	2 年生	3 年生
1 学 期	・礼儀 【あいさつを交わして】 ・遵法精神、公德心 【義務について考えよう】 ・向上心、個性の伸長 【自分との付き合い方を考えよう】 ・相互理解、寛容 【いじめに当たるのはどれだろう】 ・自主、自律、自由と責任 【傍観者でいいのか】 ・節度、節制 【安全な生活のために】 ・友情、信頼 【友達とともに】 ・勤労 【働くってどんなこと？】 ・社会参画、公共の精神 【ボランティア活動に参加して】 ・郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度 【ふるさとのために】	・礼儀 【良好な関係を目指して】 ・社会参画、公共の精神 【よりよい社会を目指して】 ・相互理解、寛容 【歩調を合わせて】 ・公正、公平、社会正義 【私のせいじゃない】 ・自主、自律、自由と責任 【あの子のランドセル】 ・友情、信頼 【みんなでとんだ！】 ・向上心、個性の伸長 【今を生きる私のために】 ・家族愛、家庭生活の充実 【思いを形に】 ・我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度 【和食の良さってなんだろう】 ・思いやり、感謝 【支えあいの中で】 ・郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度 【郷土の魅力にふれて】	・礼儀 【言葉にそえて】 ・勤労 【働くことの喜びとは】 ・公正、公平、社会正義 【無実の罪】 ・自主、自律、自由と責任 【ある日の午後から】 ・思いやり、感謝 【周りの人に支えられて】 ・よりよく生きる喜び 【信念をつらぬいて生きる】 ・家族愛、家庭生活の充実 【家族の支えがあるから】 ・向上心、個性の伸長 【見方を変えれば】 ・郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度 【郷土に息づく心にふれて】 ・我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度 【先人の思いとともに】 ・節度、節制 【日々を見つめて】

2 学 期	・生命の尊さ 【いのちを考える】 ・郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度 【心に郷土を刻もう】 ・遵法精神, 公徳心 【誰もが気持ちよく過ごせる社会を目指して】 ・よりよい学校生活, 集団生活の充実 【よりよいクラス活動を目指して】 ・勤労 【いきいきとかがやいて】 ・思いやり, 感謝 【その人が本当に望んでいること】 ・家族愛, 家庭生活の充実 【家族の思いにふれて】 ・公正, 公平, 社会正義 【クラスの生活をよくするために】 ・よりよく生きる喜び 【心の弱さを乗り越えるために】 ・希望と勇気, 克己と強い意志 【挑戦し続けること】	・生命の尊さ 【いのちを考える】 ・遵法精神, 公徳心 【よりよい社会のために】 ・節度, 節制 【気持ちを整えて】 ・友情, 信頼 【情報モラルと友情】 ・よりよい学校生活, 集団生活の充実 【誇りを胸に】 ・相互理解, 寛容 【おおらかな気持ちで】 ・国際理解, 国際貢献 【垣根をこえて】 ・自然愛護 【自然環境に優しく】 ・社会参画, 公共の精神 【たがいに支えあう社会】 ・公正, 公平, 社会正義 【正義を追い求めて】 ・感動, 畏敬の念 【敬意をもって自然と接する】	・感動, 畏敬の念 【神秘の世界へ】 ・生命の尊さ 【いのちを考える】 ・節度, 節制 【自分の生活を見直して】 ・社会参画, 公共の精神 【寄り添う中で】 ・勤労 【将来の自分を見つめて】 ・遵法精神, 公徳心 【次世代のにない手として】 ・友情, 信頼 【情報モラルと友情】 ・自然愛護 【恩恵に感謝して】 ・公正, 公平, 社会正義 【差別や偏見をなくすために】 ・よりよい学校生活, 集団生活の充実 【伝統を創るもの】 ・希望と勇気, 克己と強い意志 【より高い目標を目指して】
3 学 期	・真理の探究, 創造 【新しいものを生み出すときには】 ・友情, 信頼 【情報モラルと友情】 ・国際理解, 国際貢献 【世界の人々をつながる】 ・社会参画, 公共の精神 【公共の精神とは】 ・感動, 畏敬の念 【自然の力と向き合って】 ・相互理解, 寛容 【人の気持ちが分かる人間を目指して】 ・よりよく生きる喜び 【生きることのすばらしさを感じて】 ・自然愛護 【自然との繋がりを考えよう】 ・我が国の伝統と文化の尊重, 国を愛する態度【日本の伝統と文化にふれて】	・よりよく生きる喜び 【自分を信じて生きるとは】 ・勤労 【勤労から得られるものとは】 ・希望と勇気, 克己と強い意志 【あきらめない気持ちで】 ・我が国の伝統と文化の尊重, 国を愛する態度【伝統文化を継承し発展させていくために】 ・真理の探究, 創造 【真実を求め続けて】 ・思いやり, 感謝 【気持ちを込めて】 ・遵法精神, 公徳心 【正しい判断とは】	・友情, 信頼 【心から信じ合える友を】 ・相互理解, 寛容 【価値をめぐって】 ・よりよく生きる喜び 【弱さと向き合って】 ・国際理解, 国際貢献 【その子の世界, 私の世界】 ・真理の探究, 創造 【新しいものを生み出すには】 ・思いやり, 感謝 【人っていいなあ 思いやりの連鎖】 ・社会参画, 公共の精神 【自ら社会参画を】